

2. 川東地区

(1) 地区の概要

川東地区は、本町の南東側に位置し、地域内には用途地域と白地地域があります。

地域内にはJR大河原駅があり、県道白石柴田線が通ります。また、駅前の複合施設「オーガ」には図書館などが入っています。

JR大河原駅へのアクセスが良い一方、国道4号沿いに比べて駅前の商業店舗が少ない状況です。

表 7-4 人口・世帯数

行政区名	世帯数	人口
尾形丁1	115	277
尾形丁2	105	271
末広	255	606
保料	208	512
西原	470	1,163
幸町	236	511
中島	159	379
錦町	334	832
住吉町	192	454
稗田	399	935
原前	313	767
南原前	169	430
上谷1	334	773
上谷2	125	293
上谷3	357	932
上大谷	62	191
合計	3,833	9,326

平成27年1月1日住民基本台帳



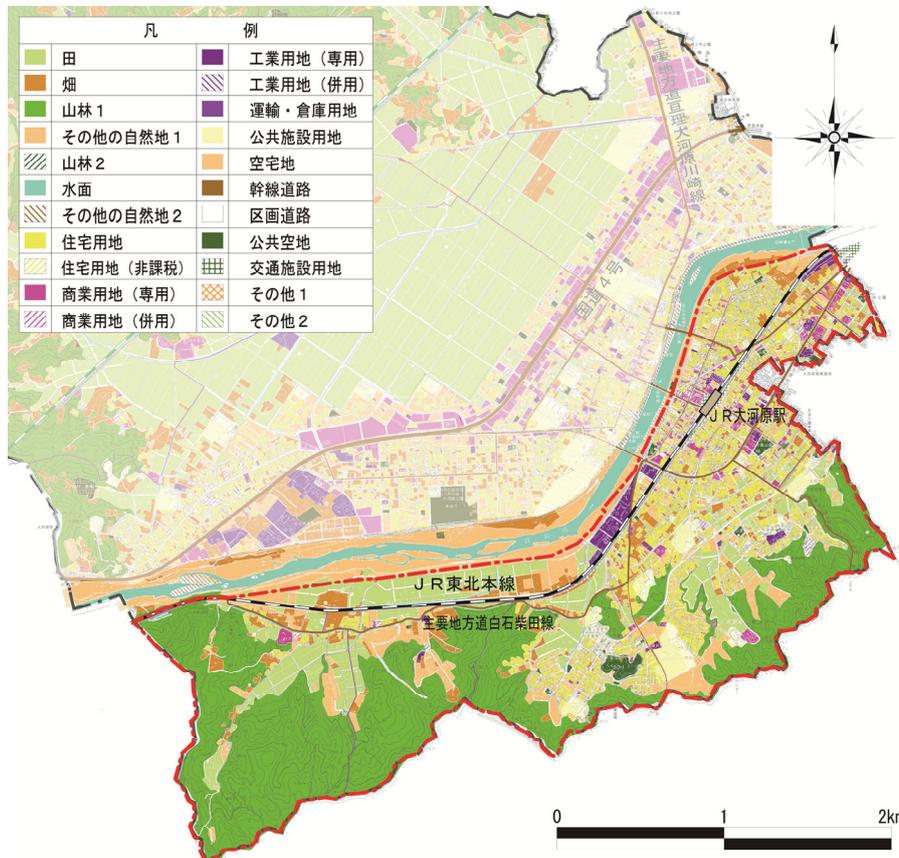
図 7-7 位置図

1) 人口

川東地区は、3つの地域区分の中で2番目に人口・世帯数が多い地区です。

2) 土地利用

駅前を中心に住宅用地が多く、南西側は山林が多くなっています。商業店舗は、駅前を中心に分布しています。JR東北本線と白石側の間には、工業用地（中の倉工業団地）があります。



出典：2010年度（平成22年度）県南部地区都市計画基礎調査（宮城県）

図 7-8 土地利用現況図

## 3) 住民意向

## ①町民意向調査

町民意向調査から見た川東地区居住者の主な意見について下に示します。

表 7-5 町民意向調査の概要

項目	結果概要
主に行っている場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤、通学は2割強が町内となり、町外が多い。</li> <li>・日用品の買い物は、地区内（2割強）よりも川西地区（4割弱）が多くなっている。</li> <li>・洋服、家電、趣味等の買い物は、半数以上が町内となっているが3割強が川西地区に行っており、地区内は1割に満たない。仙台市、名取市がそれぞれ2割前後となっている。</li> <li>・休日のレクリエーションは町内が1割強と少なくなっている。</li> <li>・病院・医療は川西地区が3割弱、川東地区が1割強となるなど町内が7割と多くを占める。</li> <li>・教育・文化活動、習い事などは、町内が7割と多くを占めるが3割弱が川西地区、地区内は1割強に留まる。</li> </ul>
普段の移動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地に関らず、自動車による移動が大部分を占めている</li> </ul>
鉄道利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅を利用する人のうち大部分がJR大河原駅を利用している。</li> <li>・駅までの交通手段は徒歩が7割強と大部分を占める。</li> <li>・駅までの所要時間は10分以内が7割以上、20分以内が9割以上を占める。</li> </ul>
デマンド型乗合タクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週数回程度利用、週1回程度利用、月数回程度利用、月1回程度利用、年数回程度利用、年1回程度の合計値が5%未満と非常に少ない。</li> </ul>
地域のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地周辺に対する要望としては、医療・福祉施設、買い物環境充実、安全性向上、道路公園の維持管理・再整備、空き地・空き家の解消の順になっているが、回答数に大幅な差異は見られない。</li> </ul>
今後の商業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原駅前での商業機能充実を求める意見が6割弱と多く、次いで国道4号沿いが2割強となっている。</li> </ul>
今後の工業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬川根工業団地への企業誘致を求める意見が約半数と多い。</li> </ul>
今後の農地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が6割弱と大部分を占める。</li> </ul>
今後の山林のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が4割弱を占める。</li> <li>・遊歩道等レクリエーションの場の整備が2割強と一定数見られる。</li> </ul>
町の拠点（中心地）の場所と機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原町役場、商店街およびその周辺と大河原駅前が3割強と多く、地区内で異なる考えを持つことがわかる。</li> <li>・拠点には、日常生活に必要な店舗・サービス機能の充実を求める人が4割強、医療・福祉施設が2割強とこの2つを求める意見が多く、飲食店等や趣味・文化活動の場としてのニーズは低い。</li> </ul>
今後の道路整備や管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難路整備を求める意見が最も多く、歩行者安全性、街路灯、生活道路再整備へのニーズが高い。</li> <li>・幹線道路の充実や街並み景観に対するニーズは低い。</li> </ul>
居住地近隣の公園について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規整備よりも維持管理の充実を求める意見が最も多く、次いで休憩施設のニーズが高い。</li> <li>・遊具や植栽充実へのニーズは低い。</li> </ul>
大河原らしさを感じる景観について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葦神堰、一目千本桜を前景とした蔵王連峰への眺望を大河原らしい景観と考える人が8割以上と非常に多く、その他白石川に関連する景観を大河原らしいとする人が多い。</li> </ul>

②住民ワークショップ

駅へのアクセスが良く住みやすいという意見がある一方で、駅前のお店が少なく買物が不便、道路が狭く歩きづらい、車ででのすれ違いが危険という意見が多く見られました。

〈住環境・定住促進〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地と住宅地が良くマッチしている</li> <li>・桜が続いている閑静で美しい住宅地</li> <li>・徒歩でも集会所等に集まり易い</li> <li>・仙台のベッドタウンとして良い</li> <li>・スーパーや郵便局もあり住みやすい</li> <li>・区内に学校、税務署、いきいきプラザ(児童館) 2つの銀行、保育所、歯科、内科等があり利便性が良い</li> <li>・空き家もあり川東地区の家賃が比較的安い</li> <li>・新しい住民で活気づいている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店が少なく高齢者は買い物することが大変</li> <li>・駅の近くにもお店がほしい</li> <li>・オーガにもにぎわいがほしい</li> <li>・駅裏に不審者が多い(昼夜・年齢関係なく)</li> <li>・商店街に駐車場ないから貸店舗が使づらい</li> <li>・貸店舗の坪単価高く、空き店舗ない</li> <li>・空き家がそのままに放置され壊れかけている家もある</li> <li>・地域密着なだけに移住者が入りづらい環境</li> <li>・空き家が増えている</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てする環境を充実させていく</li> <li>・安心して子育てできるための教育施設の充実</li> </ul> <p>○静かで住みやすく便利な住環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前パーク&amp;ライドでベッドタウン化の推進</li> <li>・駅周辺のにぎわい創出</li> <li>・シニア層の健康維持のためのウォーキング道の整備</li> <li>・買い物利便性の維持</li> <li>・放置空き家の速やかな除却</li> </ul>	<p>○多様な世代の定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場の確保</li> <li>・賃料が安く質の高い住環境をアピール!</li> <li>・若者向けのイベントで若い世代を呼ぶ!</li> <li>・教育・保育環境や公園のアピールにより子育て世代を呼ぶ!</li> <li>・医療環境のアピールやウォーキング道の整備によりシニア世代を呼ぶ!</li> <li>・空き家を活用したりノベヤ暮らし体験ツアーの実施</li> <li>・地域全体での移住者支援</li> </ul>

〈公園・緑地〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきプラザの近くに公園がある</li> <li>・広いグラウンドのある中島公園がある</li> <li>・不動公園の自然と昆虫公園が魅力的</li> <li>・地区で環境整備をしている(ゴミひろい、あいさつ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路灯の整備が必要(公園内・一目千本桜)</li> <li>・中島公園の集会所が古い</li> <li>・見城前公園の樹木が生い茂っているので大木を伐採して花などを植えてほしい</li> <li>・遊具の点検、塗装、砂の交換など定期的にやしてほしい</li> <li>・総合運動場が少ない/南小周辺、原前に公園が少ない</li> <li>・全体的に遊具が少なく古い</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○公園・緑地の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用を促すための街路灯の整備</li> <li>・施設・遊具・樹木などの適切な維持管理を行う</li> </ul>	<p>○河川敷を観光や居住魅力向上に活かす!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白石川を活かした魅力づくり</li> <li>・河川敷の新たな利用方法の発掘</li> </ul>

## 〈交通・インフラ〉

第1回WS結果（地域の魅力と課題）	
地域の課題	
①道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が狭い（4m以下・歩道がなく危険・消防車が入ってこられない・狭いカーブですれ違えない）</li> <li>・亘理・大河原川崎線に歩道がなく危険</li> <li>・上大谷の道路が危険なため車で通学している</li> <li>・交差点危険（大河原橋のたもとの交差点に横断歩道がないので柴農生が危ない）</li> <li>・通勤時大河原橋に駅から入る場所の信号は、学生の通学で車が横切れない</li> <li>・金ヶ瀬さくら大橋に上谷から入る場所に信号がない</li> <li>・角田に抜ける道は広いが朝夕は車多い</li> <li>・踏切が危険（歩行者、自転車の専用レーンが必要）</li> <li>・袋小路が残っている</li> <li>・学区を越えて国道4号の向こうに遊びにいけない（若）</li> <li>・花見時、路地に入り込み身動き出来ない車があるので狭い路地等に標示が臨時的にあると良い</li> </ul>
②排水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝の掃除ができない（ふたのあるところ）全体</li> <li>・側溝の整備が不十分</li> <li>・地震の影響からかマンホールの蓋がコンクリート道路より上にはみ出ている</li> <li>・側溝の底が土のまま、蓋のないところがある</li> <li>・側溝の幅、深さがまちまちであり、役目を果たしていない</li> </ul>
③街灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少なすぎる。子どもたちの下校時、暗すぎて見えない箇所がある</li> <li>・土手沿いの街灯が少ない</li> </ul>
④交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の便が悪い（マイカーを持っていない高齢者が不便）</li> </ul>
第2回WS結果（必要な取組み）	
○安心安全な社会インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原前での土地区画整理の実施</li> <li>・通学路の安全性の確保（狭小道路の拡幅）</li> <li>・急傾斜地の大雨時の対策</li> <li>・道路と側溝の整備</li> <li>・歩道空間の充実/街路灯・防犯灯の整備</li> <li>・デマンド型乗合タクシーの増便</li> </ul>

〈景観・観光〉

第1回WS結果（地域の魅力と課題）	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜がきれい（後世にも残したい）</li> <li>・里山の景観が残っており心和む</li> <li>・四季を味わいながら桜土手をウォーキングすることができる</li> <li>・遠方に蔵王連峰、そして区内西側に白石川と桜土手があり景観が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花見の時期以外の特色がない</li> <li>・住宅地内の景観が極めて悪い</li> <li>・田んぼの有効活用が図られていない</li> </ul>
第2回WS結果（必要な取組み）	
<p>○田園風景や桜を観光や居住魅力向上に活かす！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を活かしたまちづくりの推進</li> <li>・里山の景色を眺めることのできる散歩コース・展望台の整備</li> <li>・上大谷区の農村風景の保全・活用</li> <li>・遊休農地を活用した町民農園の整備</li> <li>・適切な管理による桜並木の維持</li> </ul> <p>○桜以外の魅力発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜シーズン以外の魅力づくり</li> </ul>	<p>○滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家体験の推進</li> <li>・民泊の推進</li> </ul> <p>○観光業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品等を活かした商品開発</li> <li>・観光案内所の機能の充実</li> <li>・積極的な情報発信</li> </ul>

〈コミュニティ〉

第1回WS結果（地域の魅力と課題）	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の参加意欲が高い</li> <li>・後期高齢者の方々がたいへん元気が良い</li> <li>・地域のまとまりがある</li> <li>・互いにあいさつを交わし合う</li> <li>・地区の行事が多く仲の良い関係を築いている</li> <li>・子ども会の行事が盛ん</li> <li>・川東は子どもが多く友達の輪が広がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅が増加してきて近所付き合いが減ってきている</li> <li>・最近アパートが増え前から住む人たちからの会費の納入やゴミ捨て方法等についての苦情がある</li> <li>・地区の行事に若い世代の参加が少ない</li> <li>・少子化で子ども会活動が難しくなりつつある</li> <li>・高齢化に伴い集会所の駐車場設置の要望が多い</li> <li>・集会所内のトイレに段差があり危険である</li> </ul>
第2回WS結果（必要な取組み）	
<p>○コミュニティを活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集まりやすい居場所づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で居住できる住環境の確保</li> <li>・若い世代とのコミュニティ形成</li> </ul>

(2) まちづくりの課題整理

川東地区の現状とまちづくりの課題について、下図のとおり整理しました。

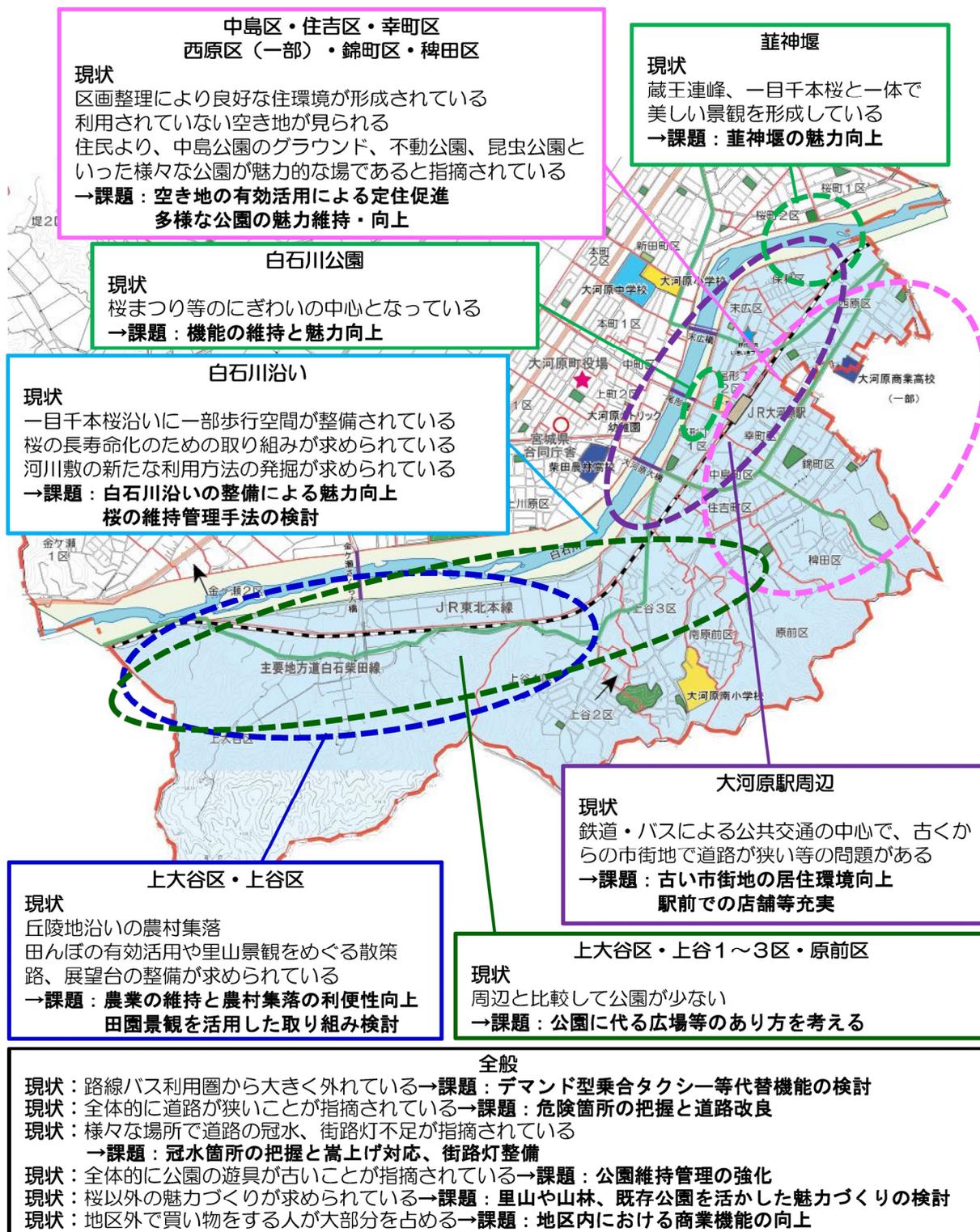


図7-9まちづくりの課題図

### (3) 地区の目標像

#### 1) 地区の目標像

川東地区の現況と課題、住民ワークショップの結果から、川東地区のまちづくりに必要な「キーワード」を抽出し、「地域の目標像」を検討しました。

#### 〈キーワード〉

大河原駅 空き家 子育てしやすい 公園が多い アパートが多い 元気な高齢者  
コミュニティ活動 狭隘道路 街灯が少ない 一目千本桜 葦神堰 川前地区

#### 〈地区の目標像〉

**住む人々が互いに交流し助け合い、  
白石川や山・田園ののどかな風景が居住魅力を高める  
穏やかで温もりのあるまち**

#### 2) まちづくりの目標

第5章 都市づくりの目標で整理した「都市づくりの基本方針」および地区の目標像を踏まえ、川東地区におけるまちづくりの方針を定めます。

##### ①集約型都市（コンパクトシティ+ネットワーク）の核となるにぎわいのある駅前環境づくり

- ・公共交通の要衝であるJR大河原駅前周辺に、駅利用者や川東地区居住者が利用する商業機能を誘導します。また、川東地区内での生活を支え、コミュニティを育てる地域内生活拠点を形成します。
- ・低・未利用地や空き家を活用した定住促進を図ることで市街地の拡大を抑制し効率的な土地利用を図ります。
- ・デマンド型乗合タクシーの強化やコミュニティバス等の導入検討等、不足する公共交通の利便性を高めます。

##### ②安全・安心で生活を楽しむことができる住環境づくり

- ・水害時避難場所、避難路、避難誘導施設（サイン等）の整備による水害時避難の円滑化を図ります。
- ・災害時に代替ルートとなる道路整備を検討し、幹線道路の強靱化を図ります。
- ・道路の拡幅、隅切確保、街路灯整備、歩道整備、路面表示整備等により生活道路の安全性を高めます。
- ・空き家の再利用や低・未利用地を活用し、居住魅力を高めます。
- ・都市公園、公共施設等への備蓄倉庫、防災トイレ等災害時に活用可能な施設の設置を進めます。
- ・コミュニティの活動を支える施設の維持や利便性・魅力向上について検討します。

### ③仙南地域の交通・商圈の中心拠点づくり

- ・仙南地域の交通の要衝である大河原駅前に各種生活利便施設を誘導します。

### ④雄大な白石川を活かした居住魅力向上・観光交流に資する都市づくり

- ・白石川の河川敷や一目千本桜、広域的な景観の繋がりを活かしたレクリエーション空間の魅力向上による居住魅力向上・交流人口拡大、賑わい創出を図ります。
- ・レクリエーション空間となりえる広い河川敷空間や景観的な魅力に優れた河川敷空間を整備し魅力を高めることで、多様な河川敷利用を実現し居住魅力を高めます。
- ・上大谷地区の農地や里山景観を活かした空間づくりを検討します。

### ⑤豊かな自然の恩恵を活かした都市づくり

- ・まとまった農地の維持や耕作放棄地の再利用推進による営農環境の保全を図ります。
- ・自然環境の保全を図ります。
- ・美しい里山景観を活用したレクリエーション機能について検討します。

### ⑥情報共有・連携・役割分担の明確化による住民が主役のまちづくり

- ・計画段階からの住民参画推進や各種情報発信、勉強会開催によりまちづくりへの町民意識の向上を図ります。



JR大河原駅前



農地と里山



白石川河川敷のレクリエーション空間  
(白石川公園)

### 3) 将来都市構造

JR大河原駅が立地していること、豊かな自然環境に恵まれていることを踏まえ、既存の都市構造を基本とし川東地区の将来的なゾーニング、都市拠点、都市軸を下表のとおり定めます。

表 7-6 川東地区の将来都市構造

〈土地利用ゾーニング〉	
①まちなかゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、古くからの市街地を形成していた大河原駅周辺を「まちなかゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 川東地区の中心部として、大河原駅利用者が気軽に様々な場所に立ち寄ることができるコンパクトでにぎわいがある市街地を形成します。</li> </ul>
②市街地ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備された場所や山間部付近の市街地を「市街地ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 都市基盤の機能を高め、居住環境の充実を図ります。</li> </ul>
③工業ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中の倉地区を「工業ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 既存の工場や企業のための都市基盤を維持します。</li> </ul>
④農業集落ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外の低地を中心に農的土地利用が図られている場所を「農業集落ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 営農環境や集落の住環境を保全し、調和のとれた田園景観を目指します。</li> </ul>
⑤自然環境ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外のうち、丘陵地を中心とした町外周を「自然環境ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 自然環境を保全するとともに、レクリエーション機能の強化を目指します。</li> </ul>
〈都市拠点〉	
①地域生活拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大河原駅周辺を、各地域の日常生活を支える地域生活拠点として位置づけます。</li> <li>・ 地域に根ざした生活サービス機能や医療・福祉機能を集約するとともに、コミュニティ拠点としての活性化を目指します。</li> </ul>
②レクリエーション拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川沿いに位置する白石川河川公園、大河原公園および川前地区を「レクリエーション拠点」として位置づけます。</li> <li>・ 白石川河川公園については、既存の公園施設や植栽等の維持管理によりその魅力を保つとともに、魅力向上のための再整備を検討します。</li> </ul>
〈都市軸〉	
①地域連携軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町を横断する白石川に跨り、本町と仙南地域の各市町を結ぶ、主要地方道蔵王大河原川崎線、白石柴田線、一級町道西幹線を「地域連携軸」として位置づけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理によりその機能を維持し、道路改良を促進することで、仙南広域圏における連携強化を目指すとともに、道路の必要性を再整理し、都市計画道路の見直しについて検討します。</li> </ul>
②水と桜のレクリエーション軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川を「水と桜のレクリエーション軸」として位置づけます。</li> <li>・ 歩行者路やサイクリングロードの整備及び強化を図るとともに、河川と一目千本桜を活用した景観形成を図ることで、レクリエーション拠点の繋がりを強化し、本町を象徴する白石川の連続した景観の魅力を強化します。</li> </ul>

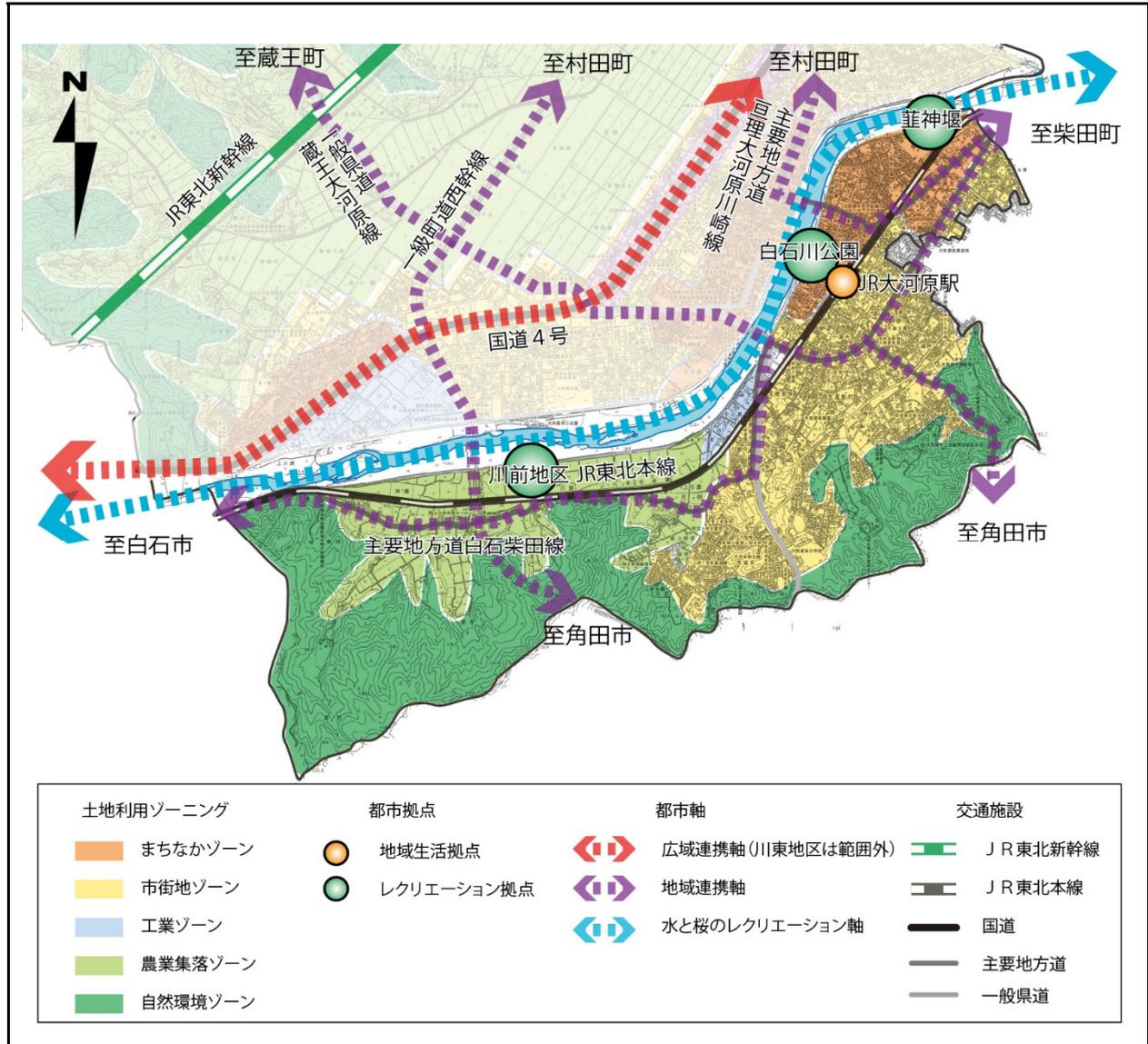


図 7-10 将来都市構造図（川東地区）



川東地区内の農業集落



中の倉地区

## (4) 都市づくりの方針（地域別構想）

## 1) 土地利用の方針

既存の土地利用や用途地域指定状況、各種法規制状況から、各ゾーンについて拠点となる場所とその他の場所におけるそれぞれの土地利用配置方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン	地域生活拠点 (JR大河原駅 周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生・高齢者等の公共交通利用者や川東地区居住者が利用する商業機能の誘導やコミュニティ施設の機能強化を図ります。</li> <li>既存の商店街においては、駅利用者向けの商業、飲食店舗の充実を目指します。</li> </ul>
	その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地等や空き家の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
市街地ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地等の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
工業ゾーン	中の倉地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の工場、事業所を中心とした土地利用の維持を図ります。</li> </ul>
農業集落ゾーン	レクリエーション拠点 (川前地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション拠点と一体となって地域農業の魅力を発信するとともに、河川と農村の一体的な景観を楽しむことができる交流機能を配置します。</li> </ul>
	その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地集積による農業規模の拡大を推進します。</li> <li>農業集落の居住環境の維持・向上を図ります。</li> </ul>
自然環境ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林については、適切な保全を図ります。</li> <li>田園や里山景観を活かした空間づくりにより、レクリエーション機能を強化します。</li> </ul>
白石川	レクリエーション拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>白石川公園において、既存のレクリエーション機能の維持・強化を図ります。</li> <li>蔵王連峰への眺望が特に優れている葦神堰や、大規模な平場空間を確保可能な川前地区河川敷空間においては、レクリエーション空間の整備を検討します。</li> </ul>
	その他 河川敷空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション拠点間を繋ぐ歩行者・自転車の移動空間としての機能を高めます。</li> </ul>

## 2) 市街地整備および保全の方針

「まちなかゾーン」、「市街地ゾーン」、「工業ゾーン」および「農業集落ゾーン」の整備方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン	地域生活拠点 (JR大河原駅 周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR大河原駅前では、道路空間の修景整備を行うとともに、低・未利用地のにぎわい空間としての活用を検討します。</li> <li>・ 既存の商店街では、道路空間の修景整備を行うとともに、低・未利用地を活用し、にぎわい創出のための空間整備を行います。また、空地を活用した公園に代わる広場の整備を検討します。</li> <li>・ 駅前コミュニティセンター、世代交流いきいきプラザの周辺においては、利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討します。</li> </ul>
	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭隘道路の改良や街路灯の設置を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。</li> <li>・ 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努めます。</li> </ul>
市街地ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理事業によって整備された住宅地や新興住宅地においては、整然とした住宅地環境維持のために、コミュニティによる植栽活動の促進を検討します。</li> <li>・ 土砂災害の危険性がある丘陵地の住宅については、災害時の安全対策を検討します。</li> </ul>
工業ゾーン	中の倉地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の産業基盤を維持します。</li> </ul>
農業集落ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。</li> <li>・ 人口減少や高齢化の進展に配慮し、地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備を図ります。</li> </ul>

## 3) 交通施設の整備・保全および見直し方針

## ①主要幹線道路

- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）（平成30年3月宮城県土木部）」に基づき、見直しについて検討します。

## ○該当する路線

主要地方道亙理大河原川崎線、主要地方道白石柴田線、一般県道蔵王大河原線、一級町道西幹線

路線名称		整備・保全および見直し方針
地域連携軸	主要地方道亙理大河原川崎線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県や柴田町との連携を図りながら、沿道の土地利用を整理し、道路改良を実施可能な区間から段階的に概成済み都市計画道路の拡幅、末広橋の拡幅について検討します。</li> <li>・JR東北本線との交差部分における道路構造については、高架化した場合と現況の踏切道で交通ネットワーク配分結果に大きく差異はなく、多大な事業費を要し住宅が連続して立地しているため事業の実現性が低いことから、道路構造の見直しを検討します。また、これに伴い現道への振り替えを含めた幅広い検討を進めます。</li> </ul>
	(都) 末広線として都市計画決定している区間	
	(都) 大河原中央線として都市計画決定している区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の交通機能を維持します。</li> </ul>
	主要地方道白石柴田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県と連携し、狭隘区間の道路改良を推進します。</li> <li>・土砂災害警戒区域内に位置する区間については、道路管理者との協議を行いながら、迂回路の整備を検討します。</li> </ul>
	一級町道西幹線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の交通機能を維持します。</li> </ul>

## ②都市幹線道路

- ・主要幹線道路の機能を補完し、本町内または隣接する市町村までの円滑な移動を支える道路を「都市幹線道路」と位置づけます。

## ○該当する路線

- 一般県道大河原高倉線（主要地方道白石柴田線との重複区間は除く）、
- 一般県道大河原停車場線

路線名称	整備・保全および見直し方針
一般県道大河原高倉線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の交通機能を維持します。</li> </ul>
一般県道大河原停車場線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の交通機能を維持します。</li> </ul>

## ③地域内幹線道路

- ・都市幹線道路の機能を補完し、川東地区内の円滑な移動を支える道路を「地域内幹線道路」と位置づけます。
- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）（平成30年3月宮城県土木部）」に基づき、都市計画道路の廃止も含めた見直しについて検討します。

## ○該当する路線

(都) 中島東線、(都) 東部線、(都) 大河原駅北線、(都) 大河原駅東線、(都) 尾形丁中央線、川前地区道路

路線名称	整備・保全および見直し方針
(都) 中島東線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 東部線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・基点である(都) 末広線から(都) 大河原中央線までの概成済区間については、他路線により交通需要が満たされていること、現在は住宅地内の区画道路として機能しておりそのための幅員は十分に確保されていること、本路線と連続する尾形丁中央線についても廃止に向けた検討を行うこととしており都市計画決定当初に想定していた道路ネットワークを形成できないこと、沿道に住宅が連続して立地しており事業の実現性が低いことから、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本路線は柴田町の(都) 西住線と連続しており、廃止の検討は柴田町との連携を図りながら行います。</li> </ul>
(都) 大河原駅北線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 大河原駅東線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・(都) 大河原中央線から終点までの概成済区間については、現在は住宅地内の区画道路として機能しており、幹線道路としての機能は近接する主要地方道亘理大河原川崎線によって担保されていること、沿道に住宅が連続して立地しており事業の実現性が低いことから、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> </ul>
(都) 尾形丁中央線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については、既存の交通機能を維持します。</li> <li>・JR東北本線を横断する未整備区間については、他路線により交通需要が満たされていること、JR東北本線との交差により多大な事業費を有し、事業の実現性が低いことから都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> </ul>
川前地区道路（新規）	・川前地区においては、レクリエーション拠点までのアクセス性を向上させるため、新規道路を整備します。

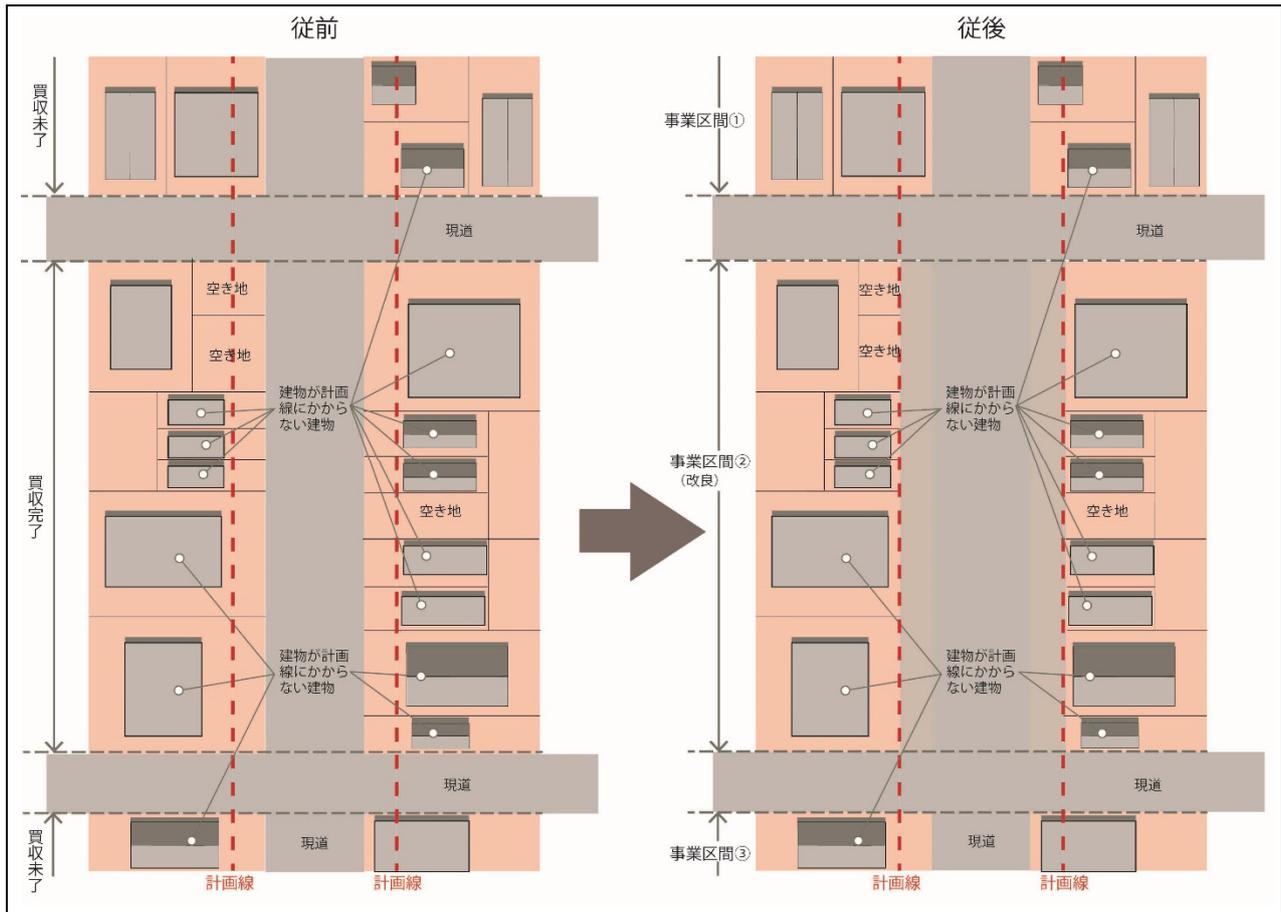


図7-11 (都) 末広線の段階的な道路改良のイメージ

## ④生活道路

- ・まちなかゾーン、市街地ゾーン、農業集落ゾーンにおいて、生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備、降雨時冠水区間等の道路改良を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。

路線名称	整備・保全および見直し方針
(都) 西原中央線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・未整備区間については交通量が少ないこと、ルート上に多くの支障物件が立地すること、既に市街地が形成されていることから都市計画道路として区画道路を整備する必要性は低いと考えられるため、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本路線は柴田町の(都)新西住線と連続しており、見直しの検討は柴田町との連携を図りながら行います。</li> <li>・本ルートにおいて、道路幅員の狭い区間や隅切が不足している区間については、課題箇所を整理し道路改良について検討します。</li> </ul>
(都) 中西線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・未整備区間については交通量が少ないこと、ルート上に多くの支障物件が立地すること、既に市街地が形成されていることから都市計画道路として区画道路を整備する必要性は低いと考えられるため、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本ルートにおいて、道路幅員の狭い区間や隅切が不足している区間については、課題箇所を整理し道路改良について検討します。</li> </ul>

## ⑤鉄道及び駅前広場

- ・関係機関と連携し、既存の交通機能の維持および利便性の向上について検討します。
- ・駅前広場の駅西側については、既存の交通機能の維持および利便性の向上について検討します。
- ・駅前広場の駅東側については、駐車場および駐輪場として暫定利用を行っているところであり、必要性について整理し、駅前広場としてのあり方について検討を行います。

## ⑥バス交通

- ・関係機関と連携し、大河原駅を中心とした路線バスルートを維持します。
- ・尾形丁1区、2区を除く広範囲において路線バス利用圏から大きく離れている本地域においては、交通を補助する機能として、既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討します。

#### 4) 公園緑地等の整備および保全の方針

##### ①都市公園

- ・公園が少ない上大谷区・上谷1～3区・原前区を中心に、空き地を活用した公共空地の確保を検討します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・公園が不足する地区において、その他公園や児童遊園の都市公園化を図り、適正な維持管理や施設の整備を推進します。
- ・平成13年より「仙台吉野」という桜を植えており、他市町から人が訪れている大河原南公園では、新たな地域の魅力としてのPRの推進や維持管理・魅力向上のための整備を検討します。
- ・地域住民から魅力的な場であるという意見があった中島公園のグラウンド、不動公園、昆虫公園については、機能の維持および魅力向上のための整備について検討します。
- ・白石川公園については、住民意向調査結果に留意し、河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図ります。また、桜の時期以外でも魅力的な空間となるよう整備を検討するとともに、より多様なイベントの場としての活用を推進します。

##### ②白石川河川敷の有効活用

- ・白石側右岸（川前地区）においては住民意向を踏まえ河川敷をレクリエーション空間として整備します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・河川堤防天端や河川敷空間を活用し、白石川を縦断するサイクリングロード等の整備を検討します。
- ・白石川の水面と桜並木を前景とした景観が特徴的な葦神堰については、景観の魅力を高めるための空間整備を検討します。

##### ③河川と一体となった農業交流施設

- ・川前地区においては、白石川右岸河川敷整備と連携し、河川景観と田園景観が一体となった景観の魅力を活用した農業交流施設の整備を検討します。

##### ④森林の有効活用

- ・上大谷地区の農地や里山景観を活かした空間づくりを検討します。

## 5) 景観形成の方針

- ・全体構想および住民意向を踏まえ、景観形成の方針を整理します。
- ・住民意向では、白石川や一目千本桜、それを前景とした蔵王への眺望を大河原らしい景観として捉えていることがわかります。また、蔵王と田園による景観にも魅力を感じていることが分かります。
- ・大河原南公園においては、桜「仙台吉野」の植樹が行われ近年魅力向上が図られているほか、里山景観の魅力向上を求める住民意見が見られるなど、新たな魅力づくりが期待されます。

### ①蔵王連峰を背景にした景観の保全

- ・本町の至るところから見ることができる蔵王連峰は、河川景観や市街地景観、田園景観と一体となり美しい景観を創り出しています。蔵王連峰への眺望景観を確保するために、建築物の高さは眺望を阻害しないよう配慮するとともに、街路樹や河川敷植栽についても視線を阻害しないよう適正な維持管理を推進します。

### ②河川景観

- ・白石川の水面と一目千本桜が一体となった河川景観は、本町のシンボルとして、広く町民にも愛されています。この景観を維持し、その魅力を高めるために河川空間の適正な維持管理を推進するとともに、特に魅力的な場所については景観整備を行います。
- ・白石川河川敷については、河川堤防天端や河川敷空間を活用したサイクリングロード等の整備と併せて、線的な景観づくりについても検討します。

### ③市街地・道路景観

- ・公共交通の中心となる大河原駅前においては、にぎわいの創出に配慮した景観づくりを進めるとともに、駅前コミュニティセンター、世代交流いきいきプラザをはじめとしたコミュニティ施設周辺の屋外空間についても景観整備を検討します。
- ・住宅地内においては、地域住民が実施している花いっぱい運動への支援を推進します。
- ・大河原南公園においては、桜「仙台吉野」を中心とした魅力的な景観づくりを推進します。
- ・魅力ある中島公園、昆虫公園においては、その景観を維持するとともに魅力向上のための整備を検討します。

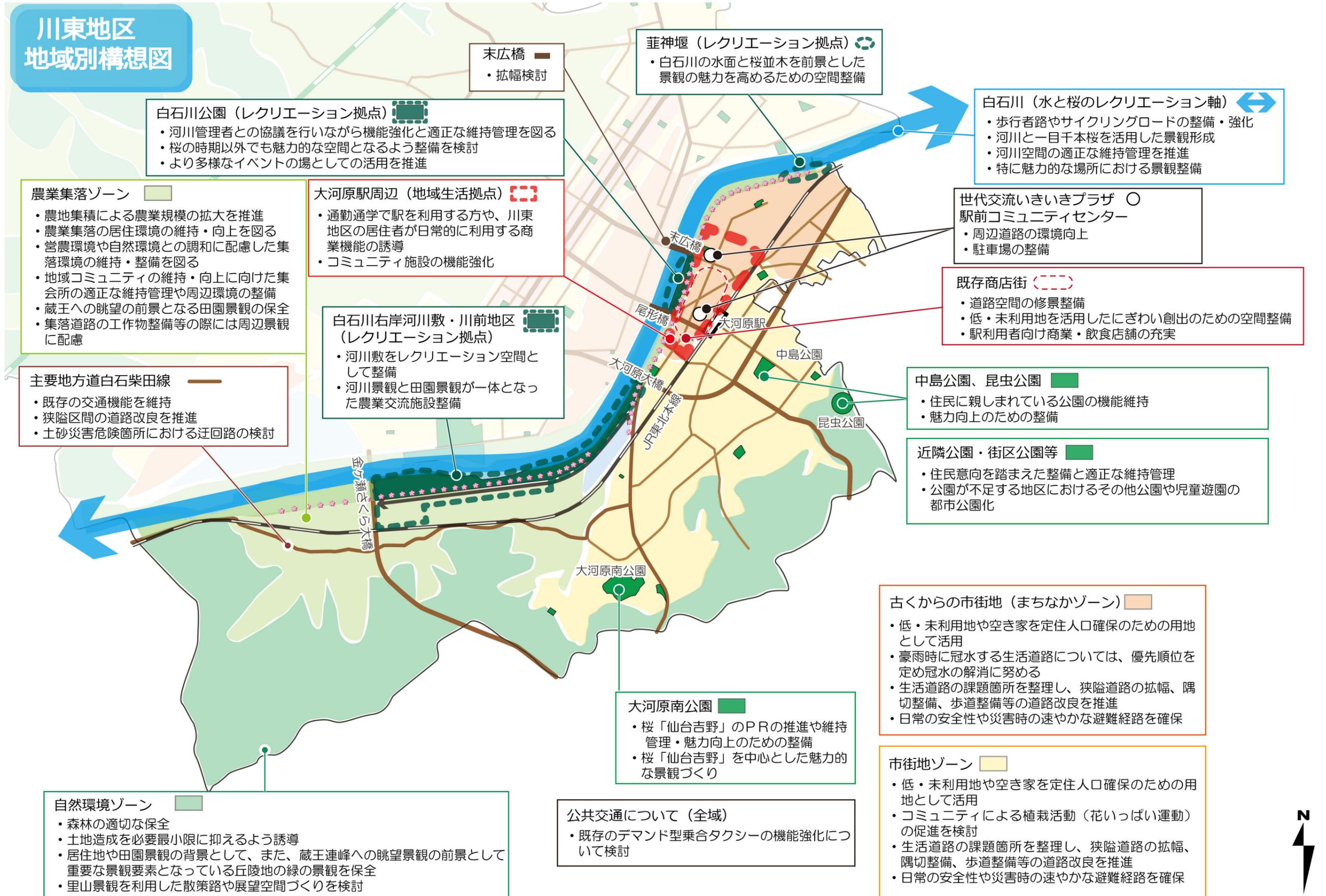
### ④自然景観

- ・白石川の流れにより形成された平野とそれを取り囲む南北の丘陵地による地形は、本町の景観を特徴付ける重要な要素となっているため、土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導します。
- ・自然環境ゾーンは、居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっているため、丘陵地の緑の保全を図ります。
- ・里山景観の維持・魅力向上やそこを楽しむための散策路及び眺望空間の整備を検討します。

### ⑤ 田園景観

- ・ 川前地区の水田は、白石川の水面や一目千本桜と共に美しい景観を形成しているため、稲作の維持を図りつつ、その魅力を活用したレクリエーション空間や施設の整備を進めます。

# 川東地区 地域別構想図



**白石川公園（レクリエーション拠点）**

- 河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図る
- 桜の時期以外でも魅力的な空間となるよう整備を検討
- より多様なイベントの場としての活用を推進

**農業集落ゾーン**

- 農地集積による農業規模の拡大を推進
- 農業集落の居住環境の維持・向上を図る
- 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図る
- 地域コミュニティの維持・向上に向けた集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備
- 蔵王への眺望の前景となる田園景観の保全
- 集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮

**大河原駅周辺（地域生活拠点）**

- 通勤通学で駅を利用する方や、川東地区の居住者が日常的に利用する商業機能の誘導
- コミュニティ施設の機能強化

**白石川右岸河川敷・川前地区（レクリエーション拠点）**

- 河川敷をレクリエーション空間として整備
- 河川景観と田園景観が一体となった農業交流施設整備

**主要地方道白石柴田線**

- 既存の交通機能を維持
- 狭隘区間の道路改良を推進
- 土砂災害危険箇所における迂回路の検討

**末広橋**

- 拡幅検討

**葦神堰（レクリエーション拠点）**

- 白石川の水面と桜並木を前景とした景観の魅力を高めるための空間整備

**白石川（水と桜のレクリエーション軸）**

- 歩行者路やサイクリングロードの整備・強化
- 河川と一目千本桜を活用した景観形成
- 河川空間の適正な維持管理を推進
- 特に魅力的な場所における景観整備

**世代交流いきいきプラザ  
駅前コミュニティセンター**

- 周辺道路の環境向上
- 駐車場の整備

**既存商店街**

- 道路空間の修景整備
- 低・未利用地を活用したにぎわい創出のための空間整備
- 駅利用者向け商業・飲食店舗の充実

**中島公園、昆虫公園**

- 住民に親しまれている公園の機能維持
- 魅力向上のための整備

**近隣公園・街区公園等**

- 住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理
- 公園が不足する地区におけるその他公園や児童遊園の都市公園化

**大河原南公園**

- 桜「仙台吉野」のPRの推進や維持管理・魅力向上のための整備
- 桜「仙台吉野」を中心とした魅力的な景観づくり

**公共交通について（全域）**

- 既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討

**古くからの市街地（まちなかゾーン）**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**市街地ゾーン**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- コミュニティによる植栽活動（花いっぱい運動）の促進を検討
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**自然環境ゾーン**

- 森林の適切な保全
- 土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導
- 居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっている丘陵地の緑の景観を保全
- 里山景観を利用した散策路や展望空間づくりを検討



